



ふじみ

第157号

平成31年1月1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
責任者 理事長 工藤和子
施設 特別養護老人ホーム富士見荘
ケアハウスアーベイン八幡平
松尾デイサービスセンター
介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

題字：福田 常雄 氏

「新年のご挨拶」

社会福祉法人 みちのく協会
理事長 工藤 和子

新年あけましておめでとうござ
います。

昨年中は、ご利用者様、ご家族
様、地域の皆様より、当協会の事
業に多大なご支援、ご協力をいた
だきまして、誠にありがとうございました。
本年もより一層のご指
導、ご支援を賜りますよう、役職
員一同、心よりお願い申し上げま
す。

さて、昨年を思い返せば、七月
に西日本豪雨災害。九月には北海
道胆振東部地震と、ここ数年、毎
年のように全国各地で甚大な自然
災害が発生しています。その多く
が想定をはるかに超えたものであ
り、ご利用者様の安全な暮らしを
お守りするためには、災害への備
え、訓練がいかに重要なことかと
実感しています。
そのようなこともあって、今年
はどのような年になるか「亥年」

を調べてみました。そこには、干
支を植物の生長過程に当てはめて
「新たな生命が種子の中に閉じ込
められた状態にある」と書いてあ
りました。これは次代に芽ぶくた
めの栄養を蓄えている状態とも言
えるとのこと。そこで今年は、亥
年にあやかかって、内部の充実「サ
ビスの向上」を一番に掲げて取り
組んでいきたいと考えておりま
す。加えて、私事で恐縮ですが、
孫三人と近くの神社に行った時に
神社の階段で私を孫三人が前後に
ついて支えて登ってくれました。
この時、「このように誰かの支え
があつて人は生きていけるのだな
あ。」と心から思いました。高齢
の方はもちろんのこと、人は皆、
心を支え合う行動をしたり、され
たりした時に「心からの幸せ」を
感じるものではないでしょうか。
そんな心で感じるサービスを目指
して、職員と共に「心のこもった
介護力」を身につける年にしたい
と思っております。

謹賀新年

社会福祉法人みちのく協会

理事長 工藤 和子 (八幡平市)

常務理事 箱石 裕 (八幡平市)

理事 関口 匠子 (八幡平市)

理事 一ノ宮 嘉道 (八幡平市)

葛 行彦 (八幡平市)

中川 剛一 (矢巾町)

監事 中軽米 明彦 (八幡平市)

藤田 昭利 (花巻市)

道尻 和彦 (八幡平市)

平山 順子 (八幡平市)

立柳 秀範 (八幡平市)

田村 恵美子 (八幡平市)

高橋 京一 (八幡平市)

佐々 久幸 (滝沢市)

中軽米 こう子 (八幡平市)

西館 政美 (盛岡市)

評議員



特別養護老人ホーム
富士見荘

☎(0195)
78-2455

芸道一筋 (竹水会・数又会さま慰問公演)

毎年、慰問公演をさせていただいている岩手竹水会さまより、今年是一緒に活動している数又会さんに声を掛けてみたら、慰問公演を快良く受けてくれましたとの報を受けて、法人他施設と近くの商店にポスターを貼らせていただき、当日は、利用者、一般の方、職員合わせて100名ほどの観客を擁して、慰問公演を堪能いたしました。歌手の加藤さんは、ステージから降りて観客の中心で利用者様と一緒に歌い、打合せ無しの職員余興で笑いを提供したかと思えば、「阿波踊り」を皆で踊るなど、演者も観客も職員もみんな一緒になって歌い、踊り、笑い合った楽しい楽しい時間となりました。

カラオケ大会
お二人とも熱唱!



布アート(Xmas ツリー)
お部屋とお家の演出



クリスマス会
入居者様のために!



富士見荘クリスマスイベント他

11月21日にユニット対抗歌合戦(カラオケ大会)が開催されました。歌や踊りを聞いたり見たりするだけでは、居眠りしたりされますが、自分達が唄うとなると別です。歌う人、応援する人と最後までずいぶん盛り上がりました。

11月27日は、クリスマスの準備がてら、布アートでクリスマスツリーを作成しました。それぞれのユニットやお部屋に芸術的なツリーが飾られ、クリスマス月間を彩りました。

12月12日、富士見荘のクリスマス会が開催されました。クリスマス会の主旨は、職員がかくし芸を披露して入居者様に楽しんでもらうことです。今年、「ジングルベルの演奏」2チームの「ダンス」が披露され、普段お世話している職員の変わりように目を輝かせて喜んでおられました。

地域密着型介護老人福祉施設

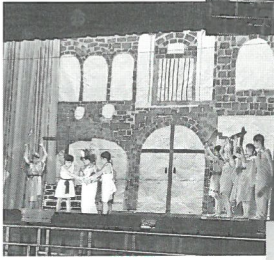
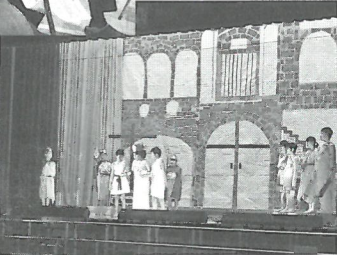
はらからの里

☎(0195) 68-7880

【松野小学校学習発表会】

十月は、松野小学校の学習発表会に、お邪魔して来ました。小学生達の一生懸命な姿に、利用者も思わず笑みがこぼれます。とても感動した様子で、「こんな時もあったわね。懐かしい!」「上手だねえ」と、女性の利用者方は、わが子を思い出している様で、帰りの車の中でも、ずっと学習発表会の話や、子どもの頃の話が尽きませんでした。みなさん、終始ニコニコしながら、見学をされていました。

今回、見学を快く受けて下さった松野小学校の方々、ありがとうございました。



【松野小学校生徒との交流会】

十一月は、松野小学校の四年生の生徒さん達が、はらからの里に遊びに来てくれました。

利用者と一緒にへっちょこ団子作りをしました。生徒達は、粉から作る作業を見るのは初めての子ばかり。興味津々な表情で見つめています。利用者は久しぶりの団子作りで力が入ります!生徒に団子作りを教えている利用者達の姿は、とても生き生きしていました。団子が煮えるまでは、生徒達による、ピアノの演奏会。歌も交えての演奏会で、とても上手です。

演奏会が終わり、みんなで作った、へっちょこ団子を頂きました。「美味しいね」「もちもちしてるね」と、みんな大満足の様子。楽しい交流会となりました。



【松野保育園のクリスマス会】

十二月十一日、松野保育園の園児達が、クリスマス会の案内状を持って来てくれました。

十四日に、利用者を数人連れて、保育園のクリスマス会に行きました。○歳児から五歳児までの園児が上手にダンスを披露してくれます。「可愛いね」「上手に踊るね」と、終始みなさん笑顔。そんな可愛らしい園児の元に、今年もサンタクロースがやってきました。園児達はみんな目をきらきら輝かせながら、サンタクロースに質問したり、プレゼントをもらっていました。利用者も「可愛い孫だ、ひ孫だ」と、話されていました。毎年呼んで頂き、ありがとうございます。今後も、地域の方々との交流を大切にしていきたいと思っています。



松尾デイサービスセンターだも

電話 (0195) 78-3720

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様のご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成も終わりを迎え、新たな年号に変わる節目の年となります。松尾デイサービスでも皆様に満足いただけるサービスを提供できるよう努めて参りますので、今年も何卒よろしくお願い致します。

秋祭り運動会

九月二十三日～二十九日までの一週間、秋祭り運動会が開催されました。

二つのチームに分かれ、利用者様と職員が協力し競う恒例行事

で、今年は玉入れ、友達の輪、風船パタパタ、職員風船割りを行いました。「身体が病めるから動かない…」と話す方も勝負事となると目の色を変え、普段見られない力を発揮しました。今年も白熱しました!



ゲール大会

十一月四日～十日までの一週間、ゲールゲーム大会が開催されました。毎年恒例となったゲール大会ですが、「難しいからできないな」といつつも打つときには真剣な表情を見せる方も多く、笑い声あふれる大会となりました。入賞者の結果は次の通りです。おめでとうございます!

- 優勝 仙木 絹 江様
- 準優勝 高橋 シゲ様
- 第三位 津志田 マツエ様

紅葉ドライブ

十月七日～二十日、デイサービスでは紅葉ドライブに出かけました。天候に恵まれないときもありましたが、晴れの日に山を登り綺麗な紅葉を皆さんと見ることが



できました!松川渓谷、アスピーテライン、松尾鉾山跡地を散策し、バスから降りて綺麗な景色を目に焼き付けました。来年の紅葉はどのように色づくのか楽しみです。



忘年会

十二月十六日～二十二日には忘年会が開かれました。昼食は厨房の職員が腕を振るい、お寿司や赤飯、揚げ物、煮物、デザートなど豪華な料理が並びました。

また今年の余興につる美会、のぼらの会、あじさいの会と斉藤さんに来ていただき、踊りや歌を披露してくださいました。

利用者様も踊りと歌が生で見られる、と朝から「今日は踊りの人が来るのか。いいな」と笑顔で話し、楽しみにしていました。余興団体の方のすばらしいパフォーマンスに皆さん拍手をして楽しんでいました。最終日は職員の余興の日です。ハンドベルでの演奏、大黒舞、カラオケ大会など職員の色を張った芸に笑いながら沸き起こりました。今年一年の嫌なことを忘れる、いい忘年会になったと思います。余興団体の皆様へ感謝申し上げます。



来年もいい年になるといいですね。

リゾート型ケアハウス

アーベイン八幡平

☎(0195)
78-2710

「本年もどうぞよろしく」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 箱石裕

新年明けましておめでとうございます。

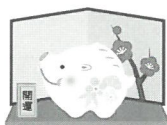
当アーベイン八幡平を利用されている方々、そして、そのご家族の方々をはじめ多くの関係の皆様のおかげで、ご支援に支えられ、無事平穏に新たな年を迎えることが出来ました。深く感謝申し上げます。

昨年一年間をさーっと振り返ってみますと強く印象に残っているのが、とても暑い夏だったということ、全国各地では熱中症で倒れる方々が続出、とある病院ではエアコンの故障で何人かの方々が犠牲になるとい痛ましい事件もありました。そんな中にもアーベイン八幡平では、誰ひとりとして倒れることもなく猛暑の夏をのりこえられたのとても嬉しいことでした。アーベイン八幡平が高原地帯にあるという環境条件を考え合わせたとしても、入居の皆様やその家族の方々の健康への取り組みの真剣さがあったからこそと改めて敬服するものです。

アーベイン八幡平に限ったことではありませんが、健康保持の障害となる壁は様々あります。今や年間を通して取り沙汰される花粉症や風邪、さらにはインフルエンザなど油断はできません。加えて、ノロウイルスやO157などの食中毒も気を付けなければならぬ事柄です。当アーベイン八幡平のように高齢の方々が利用する施設ではなおさらです。

このように利用者の皆様を取り巻く環境には危険が沢山あります。アーベイン八幡平としては、これらの危険を近づけず、また回避するために、利用者の皆様やそのご家族のお力添えを得ながら、精一杯努めてまいりたいと考えております。

今年、「亥」年です。「猪」は、とても行動的で力強く感じさせる動物ですが、ややもすると「猪突猛進」と表されるくらい無鉄砲さも指摘されます。前述した「感染症対策」はより高い慎重さが求められます。決して「猪突猛進」とならぬように配慮しつつ前進してアーベイン八幡平の環境を守ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



「身だしなみ」という力

皆様は、「身だしなみ」について、どのように考えているでしょうか。

例えば、休みの日は髪の毛を整えず着替えもせず歯磨きもせずで過ごすしてしまうことはないでしょうか。

アーベイン八幡平でいうと、朝食を食べる前にはお部屋で髪の毛を整え、パジャマから私服へ着替え、人によつては化粧をして「身だしなみ」を整えてから食堂へ朝食を食べにこられるというルーティーンがあります。

例えば、入院等の環境の変化により認知症の症状が進行してしまうことがあります。ところが、退院すると以前の状態とほとんど変わらず過ごせている方々を見かけることが多々あります。

これは、今まで行ってきたこと（ルーティーン）が、以前の記憶を呼び戻し元の生活へ戻しやすくしているのではないかと思っております。

(遠藤)

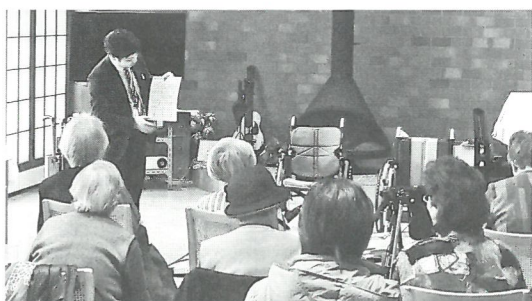
福祉用具展示会

十一月二十七日、ケアハウスアーベイン八幡平にて福祉用具展示会を開催しました。

この展示会へは、施設の入居者だけでなく近隣の住民の方々へも声をかけ十数名の方々も参加してくださいました。

車椅子や歩行器、杖や介護シューズ等展示させていただき、真剣に福祉用具を見て福祉用具の業者からも話を聞かれておりました。

また、近隣住民の方々からは、ケアハウスアーベイン八幡平は、なかなか入る機会がないので、一度入ってみてみたかったとの話も聞かれ、少し敷居が高く思われているのかなと感じ、今後は地域に開けた施設として努力していかねばならないと感じました。



愛

策 案

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みらのく協会 基本理念

社会福祉法人みらのく協会の基本理念は「愛と献身」です。
利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心とこめた介護を
いたします。

富士見荘の動き

10	4	柏台地区清掃活動
	7	竹水会慰問公演
	10	総合避難訓練
	23	布アート教室 (柿)
11	17	介護助手養成研修会 (4回開催)
	21	カラオケ大会
	27	布アート教室 (クリスマスツリー)
12	12	クリスマス会
	18	布アート教室 (干支)

富士見荘利用者状況

(平成30年12月1日現在)

市 町 村	男	女	計
八 幡 平 市	14	54	68
岩 手 町	0	4	4
その他市町村	0	1	1
合 計	14	59	73

富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	10月	11月	12月
八幡平市	231	229	230
他市町村	1	7	11
合 計	232	236	241

富士見荘入退居者状況

入居者	10月	0	(0)	退居者	0	(0)
	11月	1	(1)		2	(1)
	12月	2	(1)		2	(1)

※入居()内は再入居。退居()内は死亡
※平成30年12月31日現在のもの

配食サービス

人数	月	10月	11月	12月
利用者数		271	304	310



あけましておめでとーございませう。今年も社会福祉法人みらのく協会を何卒よろしくお願い申し上げます。

今年、「平成」で迎える最後の年になりますね。皆さんにとって平成はどんな年だったでしょうか。ちなみに私は昭和生まれで、昨今は昭和生まれが「古い」といった声もちらほら…。ご入居の方を見れば、高齢の方が「大正」生まれで、もう年号なんて気にもせず、平成生まれの職員としっかりコミュニケーションを取りながら過ごされておられます。日本の人口は、平成十五年がピークで一億二七六〇万人。そこから減少の一途をたどっており、これから高齢者の割合がどんどん増して行きます。世界的にも少子高齢化が進んでいます。日本がどの国より先を進んでいるため、世界が日本の動向に注目しています。「これが日本モデルだ。」と言えるような社会を創ることが求められており、私達の仕事はとても遣り甲斐のあるものなんです。

(松尾)

編集後記

